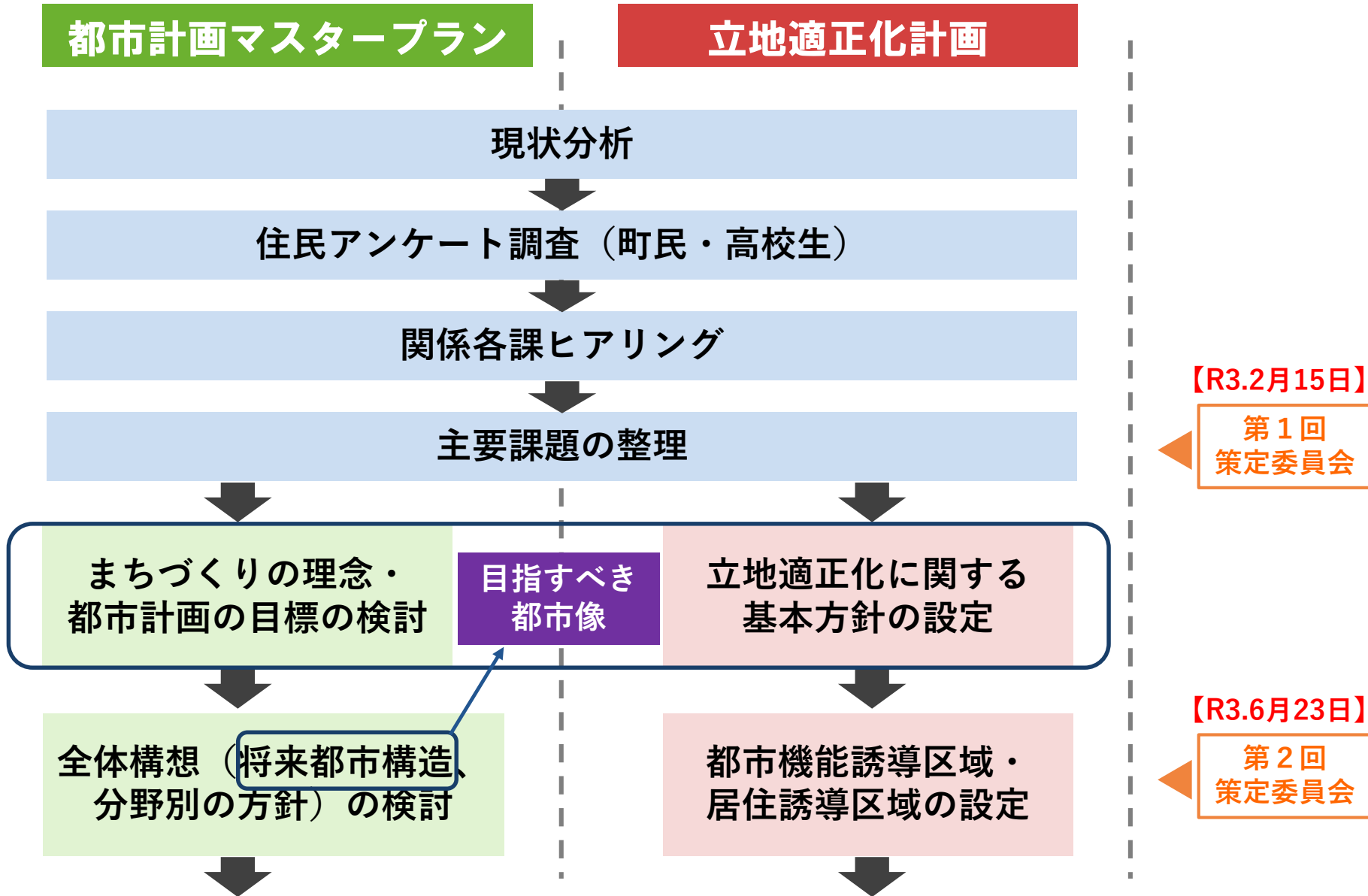
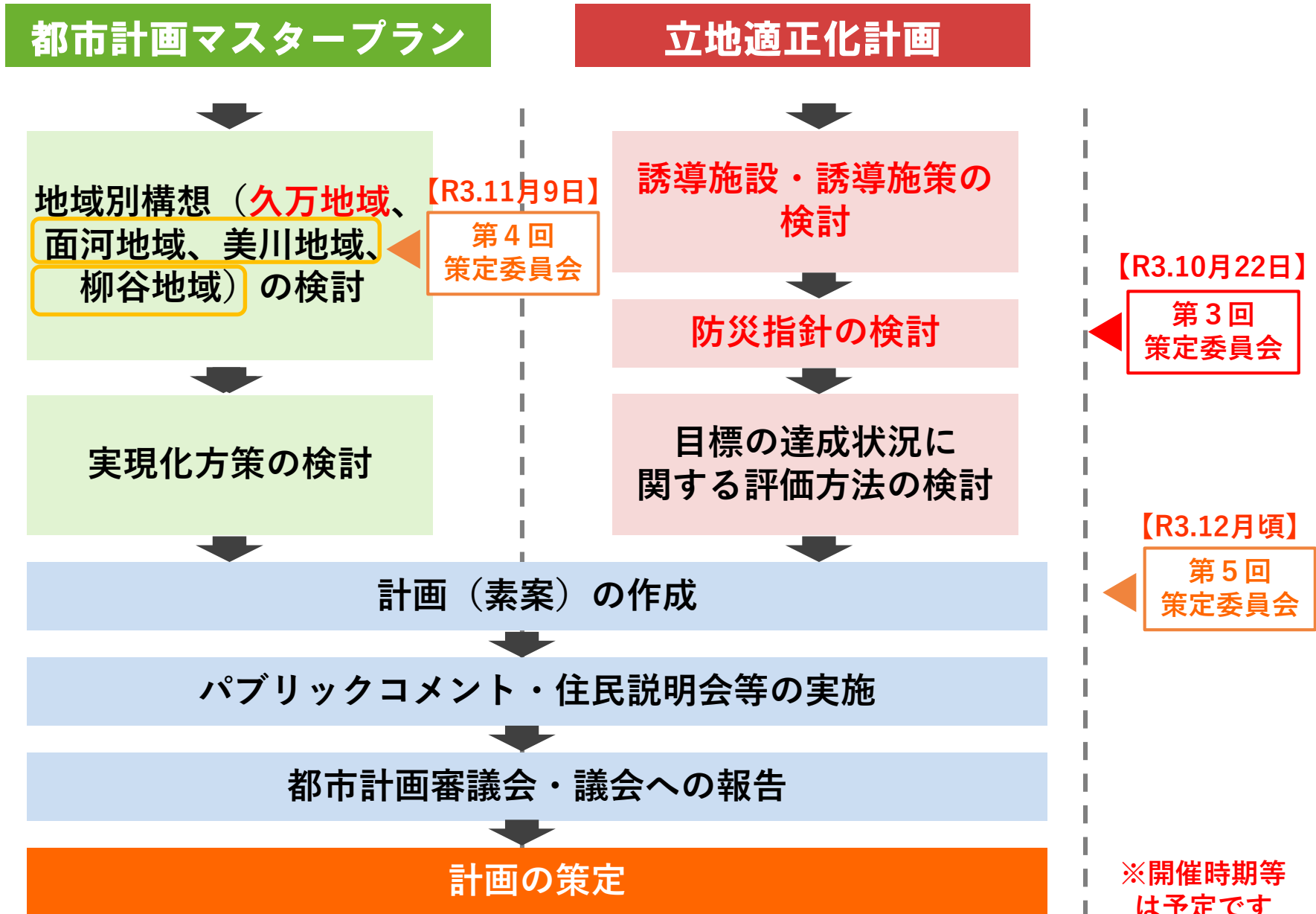


**第3回 久万高原町
都市計画マスタープラン等
策定委員会**

令和3年10月22日（金） 13：30～





1. 誘導施設・誘導施策の検討について

立地
適正

2. 防災指針の検討について

立地
適正

3. 地域別構想（久万地域）について

都市
マス

- ▶ **前回策定委員会でいただいた主な意見等のうち、今回の策定委員会で対応している項目は以下のとおり（議事録の概要は参考資料1参照）**

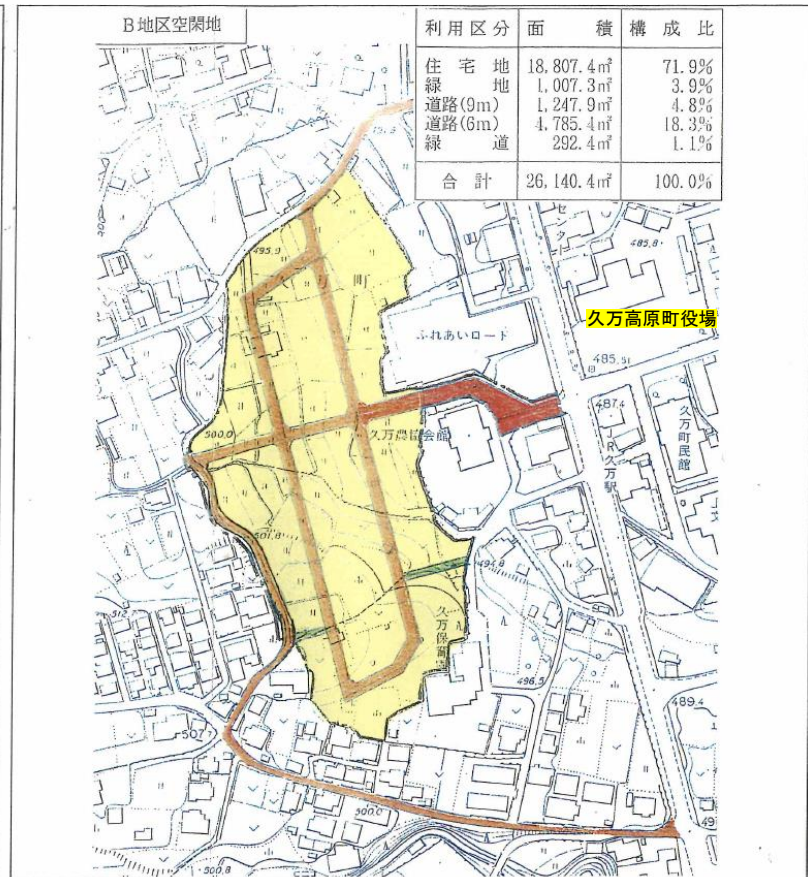
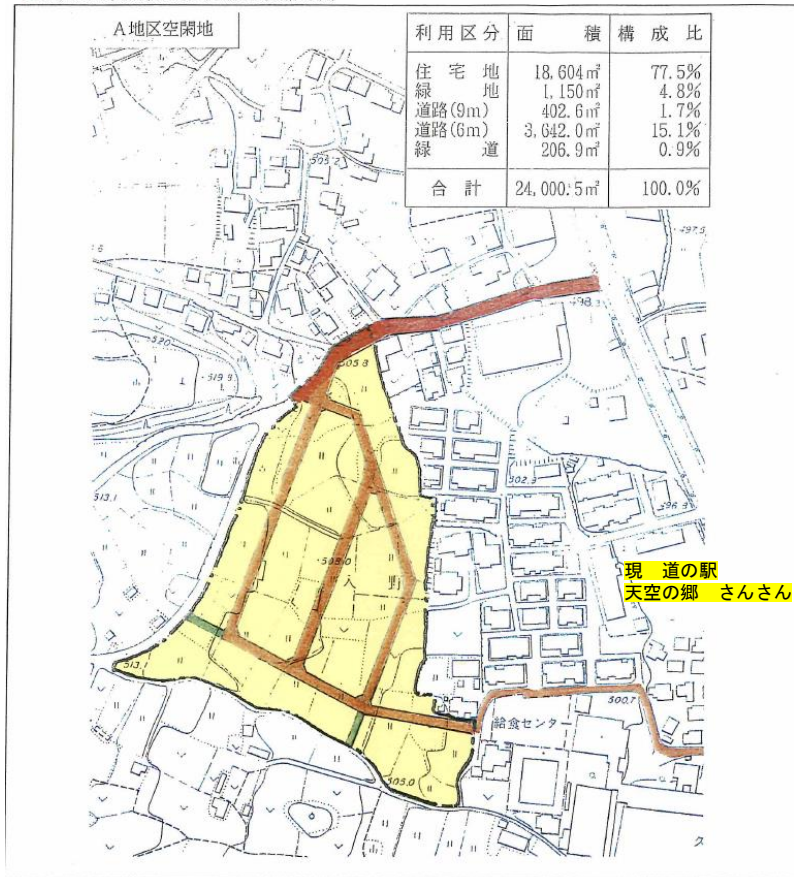
主な意見（第2回策定委員会）	本日の委員会における対応
<p>パーク・アンド・ライドも大事であるが、拠点間を結ぶ公共交通網の形成が重要だと思う。 また、新たな移動手段の導入としてデマンド交通の導入などを検討してはどうか。</p>	<p>パークアンドライドの取組として、『公共交通利用促進駐車場』を松山市農協久万支所駐車場に設置し、平成30年8月から供用している。 また、西谷地区（柳谷地域）で『公共交通空白地有償運送事業』（自宅～バス停）が、面河地区や直瀬地区で『予約制乗り合いタクシー（デマンドタクシー）』（～久万地区）の運行が開始されており、パークアンドライドと併せて拠点間の結びつきも形成を図っている。 また、新たな移動手段（誘導施策）として、久万地域では『自動運転バス等のICTを活用した新たな移動手段の確保検討』を位置付けている。</p>
<p>今後は、車社会に依存しないあり方も必要である。 また、DXのことも考える必要があるため、計画に記載した方がよいのではないかと。</p>	<p>DXに関連した施策としては、上記の自動運転バス等を計画に記載するほか、都市計画マスタープランの実現化方策において、DXを含めた今後の都市の在り方について記載する予定である。</p>
<p>都市計画マスタープランの自然的環境保全・活用の方針において、木質バイオマスボイラーによる熱利用や木質バイオマス発電の新規整備を視野に入れた木材の活用等の方針を掲げているが、立地適正化計画の居住誘導施策で木質バイオマス等、再生可能エネルギーを活用した事例はあるか。</p>	<p>立地適正化計画の誘導施策として、再生可能エネルギーを位置付けている事例はなかったが、久万高原町では令和4年度に『バイオマス利用計画』を策定予定であり、立地適正化計画でも居住誘導施策として『木質バイオマスボイラーによる地域熱利用の推進』を謳っている。</p>

変更点

- ▶ 旧久万都市計画マスタープランにおいて示されている「空閑地の土地利用構想」を踏まえ、誘導区域の北西部の空閑地は含める

(参考) 空閑地の土地利用構想 (旧久万都市計画マスタープランより)

■空閑地の面整備による土地利用構想図



修正前 (第2回委員会資料時点)

修正後

変更点

変更点

